

# 学校だより太田

平成25年5月号 和歌山市立太田小学校

新緑が濃くなり、さわやかな薫風に鯉のぼりが泳いでいます。学校では1年生も学校生活に慣れ、すっかり太田っ子の一員です。

4月26日には、児童会委員さんが計画してくれた「1年生を迎える会」がありました。1年生は、一人ひとりがマイクをもって自分の名前と好きなものについて自己紹介をしました。そして、歌を2曲しっかり歌いました。振りをつけながら歌う姿がかわいらしく、また頼もしく感じました。



在校生は、「一人の手」という歌をプレゼントしました。太田小学校の子ども達は、とても歌が上手です。上級生になると、それまでの元気な声から美しい声で歌うことができます。

プログラムの「こんなに大きくなるんだよ。」では、1年生と6年生のバレーシューズや体操服を見せてくれました。違いの大きさを見た児童からは、「うわー、全然違う！」の声が出ました。6年間でからだも心もこんなに成長するんだなと実感しました。1年生は、6年生からのプレゼントの手作りメダルを首にかけてもらい、全校生徒みんなで仲良く「貨物列車」をしました。どの子どももみんな、にこにこ顔でした。



(みんなで仲良く貨物列車)



(6年生による花輪のアーチ)